

## ブリーフィングシート

### 走行について

- ・レコードラインを意識しないこと。  
各チームの作戦によって走行タイムが変わってきます。  
よって、インやアウトから抜きにかかることがあります。
- ・同じようなタイムのスプリントレースや自分のスタイルで走る  
ことができるスポーツ走行とは違います。  
左右／後ろを確認し、常に自身の位置を把握してください。

### 黄旗について

- ・黄旗は、その先のグラベルに何かがあることを伝えています。  
それが車両の場合、故障で止まっているのかスピンで止まっているのかはオフィシャルには分かりません。  
スピンの場合、同じ条件となった場合に同様にスピニアウトする  
可能性があります。  
よって、追い越し禁止とします。
- ・黄旗を受けたのは自分であって、後続車は解除されているかもしれ  
ません。  
その場合、自分は追い越しができなくとも、黄旗を受けていない  
車両は追い越しをかけてきます。
- ・黄旗の解除は次のポストで出す緑旗を通過してからです。  
緑旗がでていないときは、黄旗が解除されたとき。  
そのポストを通過してから通常状態です。
- ・黄旗を受けたら、アクセルを緩め徐々に 60km/h を目指してく  
ださい。フルブレーキで減速しないでください。

## フルコースコーションや SC

- ・全ポストで黄旗が提示され、セーフティカーが導入された際には SC のサインも掲出されます。
- ・全コースで追い越し禁止。  
60km/h の走行となります。
- ・解除は、通常のレースとは違い、スタートラインで解除とします。  
スタートラインを通過するまで追い越し禁止です。  
解除を受けた車両が追い越しをかけてくる場合があります。  
充分に後方を注意してください。

## 赤旗やフルコースコーション/SC

- ・コース上に異物や車両の全部、または、一部がある場合、  
SC によってレースを制御しオフィシャルの撤去作業を守ります。
- ・コース上に異物や車両があるほか、天候などによって、コースの  
走行環境が危険であると、主催者、オフィシャル、コース管理者  
によって判断した場合、赤旗を全ポストで掲出します。  
徐々に 60km/h 走行に移行し、ピットレーンに戻り、待機してく  
ださい。
- ・赤旗待機中は一切の作業はできません。  
ただし、暑さを考慮し、ドライバーの下車は可能とします。
- ・再スタートは、オフィシャルの指示によります。
- ・車両異常を感知した際にピットへ戻りきれずコース上に止まって  
しまうことがあります。  
これは全車の走行に支障をきたすため、SC の導入となります。

- ・速やかにグラベルに車両全体が入るように停止してください。  
壊れた車両は自力では直りません。  
壊れた状態で走らせることは、車両の負担となり、症状をより悪化させてしまいます。  
これはガス欠症状のときも同様です。
- ・故障やガス欠によってグラベルに停止した際には、  
エンジン停止  
ドアをロックしない  
ドライバーはヘルメットをかぶったまま最短のタイヤバリヤ  
やガードレールを乗り越える、または、ガードレールの切れ  
目よりコース外へ退去。ヘルメットをかぶったまま待つてく  
ださい。オフィシャルが救助に向かいます。

## 黒旗やオレンジディスク旗

- ・黒旗  
走行に対するペナルティです。  
ピットレーンに戻ってください。  
入り口でオフィシャルより、ピットレーン通過やピットレーン  
エンドでの所定時の時間待機などの指示を出します。
- ・オレンジディスク旗  
車両異常を伝える旗です。  
仮にオイル漏れがある場合、オイルが漏れた後に、オフィシャル  
が確認し、オレンジディスク旗を出します。  
よって、最短でも2周を費やします。  
アクセルオンやオフ時に煙が出ていないかを常に確認し、異常を  
感知した場合は、速やかにグラベルに停止してください。
- ・チェッカーポスト下でゼッケンと一緒に掲出します。  
ストレート通過時に必ず確認してください。

## 給油について

- ・ 給油時間は 5 分。  
時間は充分ありますからゆっくり安全に作業をしてください。
- ・ 給油時間中の 5 分間は、空気圧計測や窓を拭くなど、一切の作業はできません。  
これらの作業は 5 分経過後に行ってください。
- ・ 給油に際しては、計測依頼チームに声をかけ、タイム計測を依頼してください。そのシートは競技終了後に提出してください。
- ・ タイム計測開始は、車輪とエンジンが停止してからです。
- ・ 給油が可能となるのは、アースを接続し、ドライバーが降車してからです。
- ・ 給油に関わるスタッフは、難燃性のスーツ、フェイスマスク、グローブを着用してください。
- ・ 給油はピット前のエリアで行います。  
車検時を除き、いかなる場合もピット内では行えません。
- ・ ピット内のガソリン保管量は 20 リッター以内です。
- ・ 給油に用いる携行缶は規定しているもの、または、ツインリンクもてぎが了承したものを使用してください。

## 初期ガソリン量について

- ・スタート時のガソリン搭載量は 45 リッター以下です。
- ・ノーマルタンクの場合、カタログなどのガソリンタンク容量が分かるものを車検オフィシャルに提示し、ガソリン量を示すようにしてください。
- ・レーシングカーの場合は、コレクタータンクが 20 リッターであると仮定して計測します。  
コレクタータンクがない場合は、その証明が必要です。
- ・後付けの安全タンクの場合は、タンク自体の容量確認、または、ガソリンの抜き取り後の再給油をオフィシャルが検分します。  
その際はピット内での給油を許可しますが、給油装備を満足させた状態で行ってください。
- ・初期搭載量が証明できない場合は、無条件に 5 周減算とします。

## ガソリン給油量について

- ・毎回の給油量は 20 リッター以下とし、ピットで給油します。
- ・給油に必要な装備が揃っていない場合は、給油を行うことはできません。

## 給油後の乗車について

- ・給油ストップタイム終了 1 分前に乗車が可能です。  
その際は、シートベルト補助、クールスーツ接続、無線チェック、ビデオなどの電池交換以外の作業はできません。

## 作業人数について

- ・給油作業員は、給油係、消火器係、コック操作員、レーン監視員など5名までです。  
ピット内で計測しているスタッフなどは作業員に含みません。
- ・給油後、または、通常の作業員は4名までとします。  
ドライバーが乗車している場合は、ドライバーもスタッフ数としてカウントします。

## 走行時間について

- ・ドライバーが車両に乗り込み、スタートの準備が整い、エンジンスタートした時点から走行時間の計測開始となります。
- ・一人の走行時間は15分以上60分未満です。  
よって、1周走って給油に戻ることはできません。  
エンジンをかけた状態の場合、連続走行時間に含まれます。
- ・走行時間をクリアしていれば、同じドライバーが乗車することは可能です。が、一旦降車しなくては連続走行時間内となります。
- ・最終スティントのみ、15分の規定のみ撤廃します。

## ドライバー交代のみの場合について

- ・交代に要する時間の規定はありません。  
が、ドライバー交代のみの場合も連続走行時間規定は同じです。  
計測チームに声をかけてください。
- ・給油を伴わないドライバー交代の場合は、ドライバーが乗り込んだ状態での軽作業が可能です。

## 作業について

- ・ジャッキアップなどを伴う重作業を行う場合は、安全のためドライバーは必ず降車してください。

## 車検について

- ・オフィシャルが出向き、車検を行います。  
ドライバー（含給油要員）のレーシングスーツ、グローブ、ヘルメット、消火器の確認と年式がすぐに検査できる状態にしてください。
- ・ブレーキマスターシリンダーの押さえ、ヘッドライトなどのテーピング、ライト点灯、ブレーキランプ点灯、ウインカー点灯、シートベルトの年式やシートの取り付けが車検対象となります。

## チーム内ミーティング

- ・ブリーフィングは、チーム代表、または、監督1名の出席となります。  
よって、このシートにまとめたものをチーム内で共有し、徹底してください。

## スタート進行について

- ・車検、および、チーム内ミーティングが終了したチームから随時手押しでグリッドに整列してください。
- ・スタートのカウントダウンが始まる5分前にスタッフはピット内に戻ってください。  
スタート進行が遅れた場合、走行時間の短縮となります。

- ・スタートは、グリッドより SC を先頭にスタッガード状態でコースを1周し、ローリングスタートとします。
- ・スタートは、日章旗を振ることによって合図とします。スタートラインを通過後からレース開始となります。

## その他

- ・ピットレーンエンドの信号が青の場合のみコースインが可能です。
- ・ピットレーンの範囲は信号の位置までです。
- ・ピットレーンの通過速度は 40km/h です。厳守してください。
- ・コースイン時は、ホワイトラインを跨がず、ストレートを走る車両に注意してください。  
1 コーナーはインベタとなります。
- ・ピット、テント、パドック内は、チームに関わる全ての方がタバコやガスコンロ、火花が出る工具など一切の火器厳禁です。厳しいペナルティ対象となります。
- ・タイヤ交換を含む作業はピット内、または、パドックにて行ってください。
- ・リザルトはチェッカー優先となります。  
ただし、トップ周回の 70%以上を経過してリタイヤした場合は、リタイヤした時点の周回の 70%をリザルトとします。